

社会資本整備総合計画
(都市再生整備計画) 事後評価シート
間々田駅周辺地区(第二期)

平成30年3月

栃木県小山市

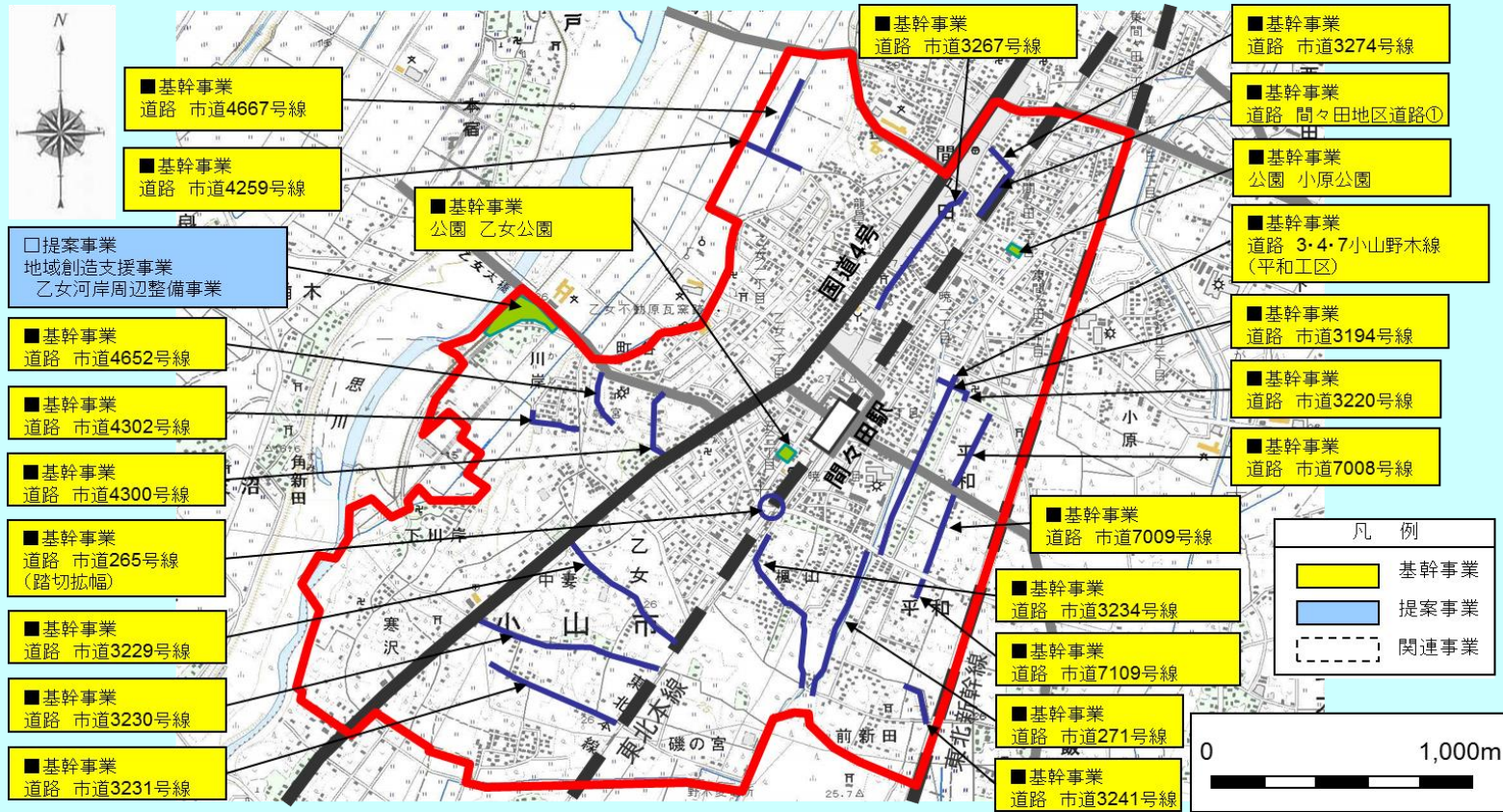
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	小山市	地区名	間々田駅周辺地区(第二期)			面積	544.3ha			
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	2,117.5	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道4259号線、市道4667号線、市道7109号線、市道3274号線、外13路線)、公園(乙女公園)									
		提案事業	地域創造支援事業(乙女河岸周辺整備事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(平和地区道路①、平和地区道路②の2路線)	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	地域創造支援事業(乙女河岸舟運事業)	地元まちづくり協議会との調整の結果、事業の整備順序を入れ替えることとなったため削除		なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道7008号線、市道7009号線、外2路線)、公園(小原公園)	東日本大震災を受けて、整備順位・整備内容の精査を行った結果削除		なし						
		提案事業	-	安全で良好な生活環境の形成が図れるため追加		なし						
交付期間の変更	当初	平成23年度～27年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成 年度 ~ 年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	狭あい道路率	%	100	H22	75	H27	74	○	あり なし	狭隘道路の割合が改善されつつあり、緊急車両の進入が容易になり、安心・安全のまちづくりが構築されている。	-
指標2	車屋美術館の月間平均来館者数	人/月	870	H21	910	H27	954	○	あり なし	博物館、美術館の資料展示に関連付けられた乙女河岸やアクセス道路を整備することにより、交流人口が増加し、車屋美術館の来館者数が、増加した。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
4)定性的な効果発現状況	本事業の実施に伴い、まちづくり活動団体等の積極的な取り組みが徐々に実を結び、各種事業に対する合意形成のとりまとめ等、協働のまちづくり活動が浸透してきた手応えがある。											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	間々田駅周辺地区整備推進協議会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	市民の意見交換の場として活動できており、今後も市は活動支援を継続する。		
	持続的なまちづくり体制の構築	小山市地区まちづくりの活動			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	市民を主体としたまちづくり活動が継続して行われ、今後も市はまちづくり関連活動の支援を継続する。		

様式2-2 地区の概要

間々田駅周辺地区(第二期)(栃木県小山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
目標1 都市計画道路や集落内道路などの整備による、安全な生活環境の形成 目標2 乙女河岸跡の活用による、舟運で繁栄した小山の歴史を活かしたまちおこしの推進	狭あい道路率	単位: %	100	H22	75	H27	74	H29
	車屋美術館の月間平均来館者数	単位: 人/月	870	H21	910	H27	954	H29



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり構想に基づいた狭隘道路の整備や、まちづくりにおける「安心・安全」なまちづくりのためのルールについての勉強会を繰り返し行っており、交通安全面での機能向上と住民の意識向上が図られた。 道路及び公園のバリアフリー化も進み、乙女河岸整備事業によって地域内の観光拠点を結ぶ休憩施設がつけられた。 今後は未整備箇所の事業着手と間々田地区内にある歴史・文化遺産の効果的な宣伝を検討する必要がある。 新たな課題として、狭隘道路拡幅によって通過交通量が増加したことによる安全性の確保が考えられる。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 快適な住環境の形成を図るためにまちづくり活動支援をおこない、まちのルールについて地区計画制度の検討をする。 歴史・文化遺産の周知と活性化のために、JR等と連携してイベント開催支援を行う。 未着手の狭隘道路の拡幅整備によるネットワークの充実を図る。 通過交通量増加に伴う安全性の確保のため道路整備にあわせた安全対策事業を行う。